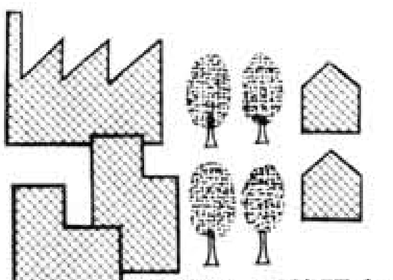
広報 向日町

発行所 向日町役場
京都府乙訓郡向日町大字寺戸小字中野20
電話京都（931）1111（代表）
編集・向日町役場総務課

1億の明日につながる国勢調査



史上最も大規模な第十一回国勢調査

ご協力お願いします

ことしの十月一日には、十一回目の国勢調査が実施されます。国勢調査は、全国、都道府県、市町村の人口の大きさや構成を明らかにし、国の政治や行政はもちろん都道府県や市町村の行政に直接役立つ資料を得るために行なわれるものです。

国勢調査は、大正九年に第一回調査が実施されて以来、五年ごとに行なわれており、今回の調査は第一回調査以来数えて、半世紀を迎える記念すべき調査です。また今回の調査は、国際連合が提唱している一九七〇年世界人口センサスの一環ともなるものです。

調査の結果は、雇用、産業、教育、住宅、社会福祉、環境衛生、交通、防災などの対策や議員定数の決定、財政需要額の算定などに欠くことのできない資料として用いられます。

近年、わが国では、経済のいちじるしい発展がつづいています。これにともない、人口の地域間の移動がはげしく、過密・過疎という現象で特徴づけられるように、市町村の人口の大きさや構成は非常に変わってきています。

今回の国勢調査では、このような人口の変化の状況を詳細に明らかにするために、集計の内容を大幅に拡充するとともに、市区町村内の小地域別にも統計を作成し、また、人口移動に関する統計や通勤・通学に関する統計を充実することにしています。また、経済的な面ばかりでなく、社会的側面にも重点をおいた統計、たとえば、世帯や住宅に関する統計も豊富に作成します。

なお、今回は十年に一度の大規模な調査の年にあたっているほか沖縄においても戦後はじめて本土と一体化して国勢調査を実施することになっているため、今回の国勢調査は、史上最も規模の大きい調査になります。

国勢調査は国内に住むすべての人または世帯について、つぎの事項が調査されます。

①氏名②世帯主との続き柄③男女の別④出生の年月⑤国籍⑥配偶の関係（結婚しているかどうかの別）⑦結婚年数⑧いままでに生んだ子供の数⑨現住居に入居した時期⑩前住地⑪教育（在学か否かの別、在学または最終卒業学校の種類）⑫仕事をしたかどうかの別（就業状態）⑬仕事上の地位⑭勤め先・業主などの名称および事業の種類（産業）⑮本人の仕事の種類（職業）⑯従業地または通学地⑰従業地または通学地までの利用交通手段⑱世帯の種類⑲住居の種類⑳住宅の居住室数㉑居住室の畳数㉒家計の収入の種類

これらの調査をした結果の公表は、まず、全国・都道府県・市区町村別人口と世帯数がことし十二月中に速報として公表され、明年五月末までに、人口の確定数が官報に告示されます。

集計結果は、報告書などによって公表されますが、このうち、都道府県・市区町村別の年齢、教育、就業状態、産業、職業、世帯、住宅などに関する基本的な集計結果は、都道府県ごとの報告書にまとめられ、明年四月ごろから順次刊行されます。

また全国についての基本的な事項に関する速報が、明年十月末ごろまでに公表されますが、このほか、人口移動に関する詳細な結果や、昼間人口や通勤・通学の状況に関する結果あるいは全国・都道府県別の詳細な集計結果も集計完了しだい順次公表されます。

☆ ☆

町では一九一の調査区

調査のしくみ

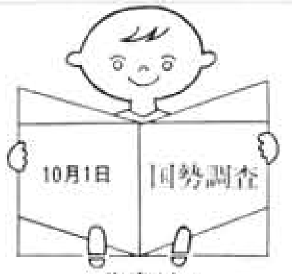
国勢調査では、人口をもれなく、また、重複なく調査するために、全国にわたって、約五十七万の国勢調査区が設けられています。本町では一九一の調査区が設けられています。

この調査区には、国勢調査員が一人ずつ配置され、調査票の配布や取り集めなど実際の調査に従事します。

調査員は十月一日の一週間前から（九月二十四日から三十日までの間に）、担当調査区内の各世帯に「調査票」を配布します。十月一日から五日までの五日間に調査員は再度各世帯を訪問し、記入ずみの調査票を回収します。調査員は、さらに、この調査票に基づき「調査区要図」を作成します。

調査員が作ったこれらの調査書類は、市町村に集められ、そこで審査された後、都道府県を通して総理府統計局に送られます。総理府統計局に集められる調査票は、合計約三〇〇〇万枚、調査書類は約七〇〇〇万枚になると予想されます。

今回の国勢調査では、市区町村別の基本的な統計をできるだけ詳細にまた早期に公表するため、前回の国勢調査よりも大型の電子計算機と改良された「光学式読取り装置（OMR）」を用いて集計が行なわれます。OMRという機械は、調査員が鉛筆でマークして作成した調査書類の内容を磁気テープに高速度で記録するもので、このテープの内容は、電子計算機によって処理され、詳細な統計が作成されることになります。



・秘密は・
・固く守ります・

○…国勢調査では個人や世帯についていろいろと立入ったことを調査しますがこれらの申告されたことがらは、統計をつくるためだけに用いられ、その他の目的、たとえば課税などの目的に使われることは決してありませんから、安心して申告してください。…○

▽国勢調査調査員△

▽物集女
林田武、上田尚利、北東光明、石川右衛、植田武、安田達夫、山田勇、安田茂、波多野辰蔵、中山茂、山本千鶴子、戸倉ワサ子、松岡武

▽寺戸
長谷川弥一、樋口弥三、岡崎正夫、岡田昭、伊藤信夫、川上庸治、片山宗徳夫、豊田俊朗、松尾実、樋口忠男、宮部雅枝、竹中文子、友石淳子、大垣桂子、石嶋久美子、岡田昌子、丸谷千代、伊藤秀夫、毛利千鶴子、山本勝、長谷川武次、島居信蔵、福本晴、坂本康治郎、城戸義和、八木義明、坂田義明、長野アイ子、桑原信夫、飯田正夫、岡崎満、三上政次、吉田栄治郎、船岡正、田中秀夫、大矢誠、中川賢俊夫、山崎輝明、藤井喜一郎、山田晃一、今西重信、青木久次、磯正夫、松山彩、津田賢治、野村八郎、細見末松、田畑実、藤原正一、中井武、岩井新太郎、竹内義夫、高岡繁太郎、美濃部悦、加茂野友一、大庭勝代、山本六門、山沢正次、木村国夫、中田隆一、吉井孝一、万代留四郎、小松巌、中村義之、塩見茂、伊藤利、西村満、下村実二、中垣長治、角末弘、薮野経太郎、西本勝、伊勢木末吉、三好栄、桝田鋼治郎、岡崎四郎一、竹田貞男、杉山富雄、岡田正司、守屋邦義、岡崎祥子、吉田進、斉藤吉次郎、杉浦勇、石井政一、福本節子、田中満一郎、山本富三郎、津田耕治、上田昭一、長谷川勝治、西雅正三、今村豊治、福田健作、原田アルチ子、武田隆、堀内進子、蕪波美梅子、三田村洋子、野田正志、西田虹郎、田中敏子、山田隆

▽森本
山本繁、井上孝夫、辻山忠雄、清水尚史、小林信三、半田剛三、菊地輝子、谷中芳範、揖谷武久、中山昌三、松田正、杉本満重、大森親子、大前かつ子、中並重治、岡本賓三郎、村山陽子、中塩孝夫

▽鶏冠井
橋本庄次、五十棲宏、橋本政一、小寺伊佐雄、本田昇、高岡加蔵、五十棲光義、五十棲義作、吉田保定、生嶋宗明、上辻輔治、武山嶋作、大西武雄、生嶋豊和、藤井茂、藤田伊和、吉田貞三、中嶋純次、斉田次枝、中組真夫、大江平三郎、武内満蔵、奥村宗七

▽上植野
八木小枝子、岩田治子、中村幸江、堀内和明、林田静雄、渡井茂明、藤田米蔵、岡田末太郎、鎌田与一郎、小林茂三、秋田友治、林田義枝、長秋信一、民谷繁三、藤田恵三郎、植田サト

▽向日
三宅博、岡本典義、岸上伊一、丸橋栄太郎、上田音次

▽西向日
大野群治、諏訪小四郎、高橋静二、大林嗣生、山崎誠一郎、土谷九、中島源次郎、大野貞三

▽向日台
中川義之、清水和子、竹内正月、高柄正市、門野三郎、高本忠義、松山幸次、白山輝次、霜田弘、高嶋隆次、山本次郎

町の人口

（昭和45年8月末日現在）

男	18,392人
女	18,294
計	36,686
世帯数	10,830

◇

物集女	2,556人
寺戸	18,663
森本	3,867
鶏冠井	3,926
上植野	3,170
向日	1,351
西向日	1,310
向日台	1,843
計	36,686人

グラフでみる町の人口推移

町の人口はどれくらいだとお思いですか？

懸賞募集

町の国勢調査人口をあてる懸賞募集をしますから、みなさんどしどしご応募ください。みなさんの予想人口は何人ですか？

- 応募資格　町内在住者にかぎる。
- 応募要領　官製はがきに第11回国勢調査人口……何人、住所、氏名、年令、職業をはっきり明記してください。1人1枚にかぎります。
- 応募期限　昭和45年9月30日（当日消印有効）
- 応募先　向日町役場総務課統計係（向日町大字寺戸小字中野20）
- 正解　昭和45年度総理府統計局発表による人口速報概数を正解とする。
- 賞品　正解者10名に記念品を進呈（正解者10名以上の場合は抽せんによる）。正解者が10名以下の場合は最も近いものを含める。